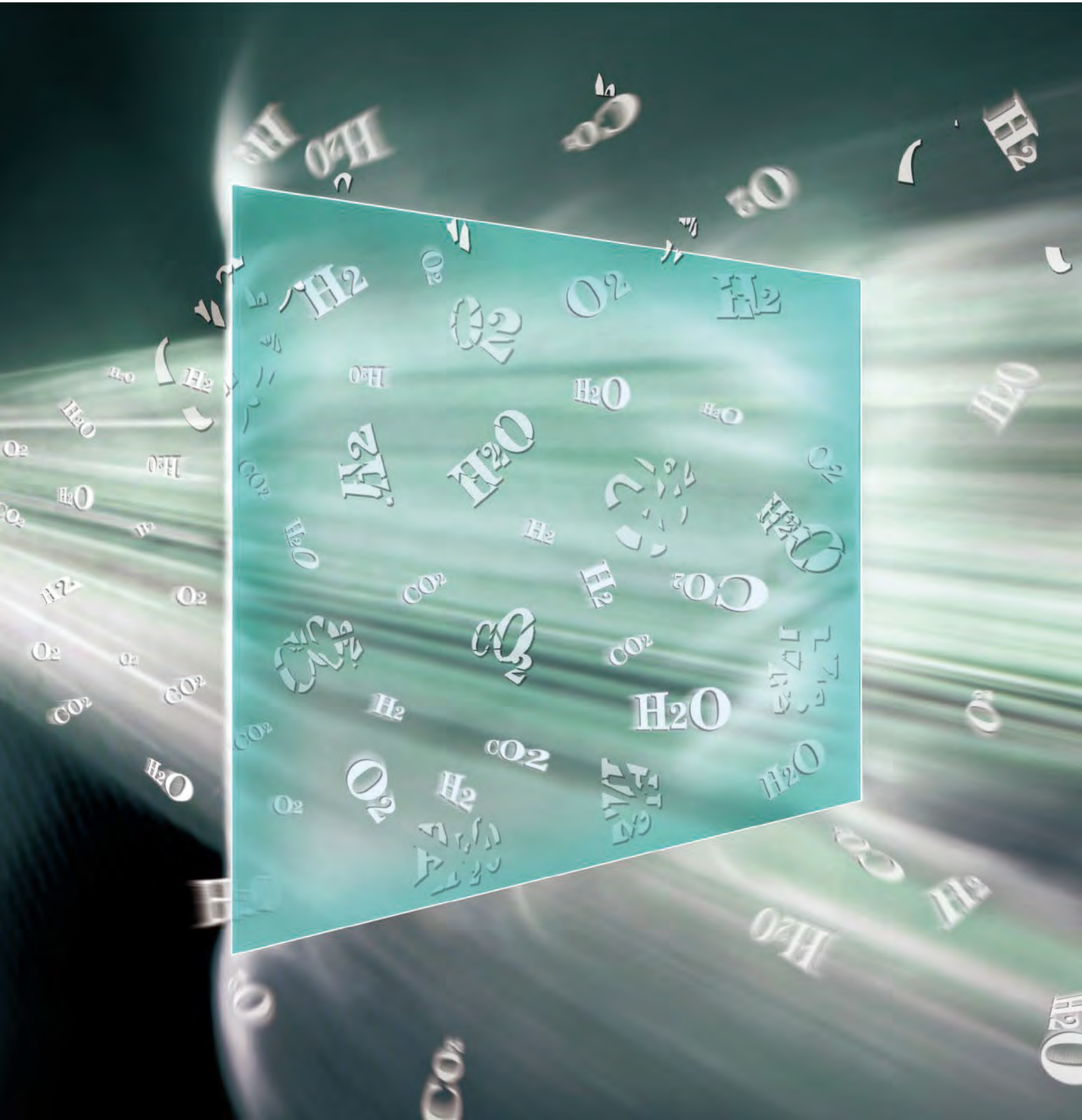


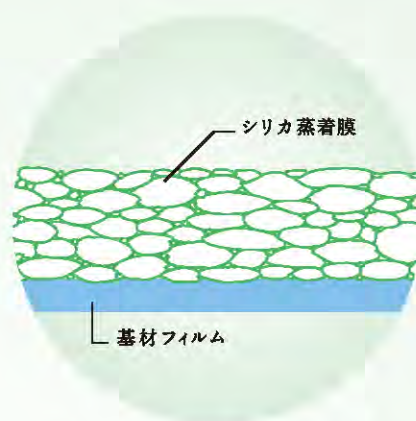
透明蒸着ハイガスバリアフィルム

テックバリア®



メタルフリーだから、中身が見える。 メタルフリーなのに、強力に守る。

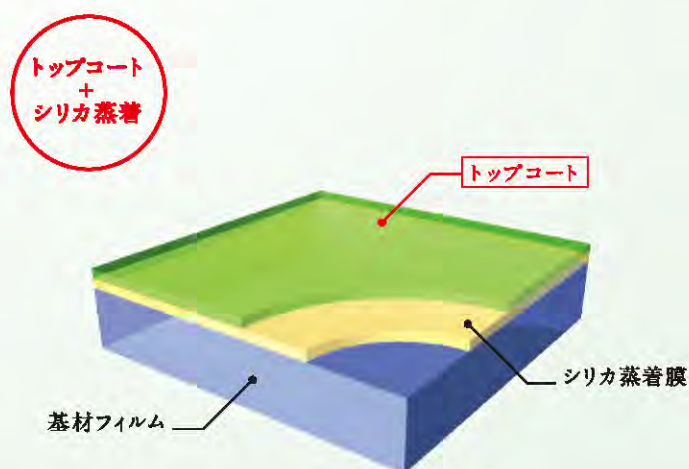
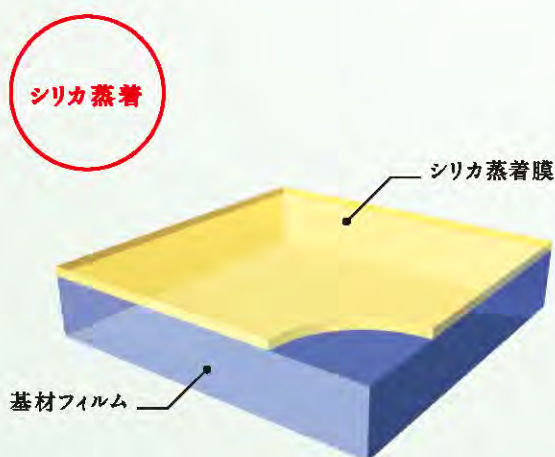
プラスチックフィルムの表面に、
シリカ蒸着膜を形成して生まれたテックバリア®。
水蒸気と酸素の透過を抑制し、耐薬品性に優れ、
透明性と加工のしやすさを合わせ持った
理想のフィルムです。テックバリア®には用途に
応じてさまざまなタイプがありますが、
各タイプとも、水蒸気透過度は $0.7\text{g}/(\text{m}^2\cdot\text{d})$ 以下、
酸素透過度は $0.5\text{cc}/(\text{m}^2\cdot\text{d}\cdot\text{atm})$ 以下。
メタルフリーでありながら、中身を守り抜きます。



テックバリア®の断面イメージ図

独自の蒸着技術と製膜技術。その融合から生まれる テックバリア®には、2種類の構成があります。

下左の構成図は、シリカ蒸着のみの場合。下右の構成図はシリカ蒸着したフィルムの表面に
トップコート処理を行うことを示しています。

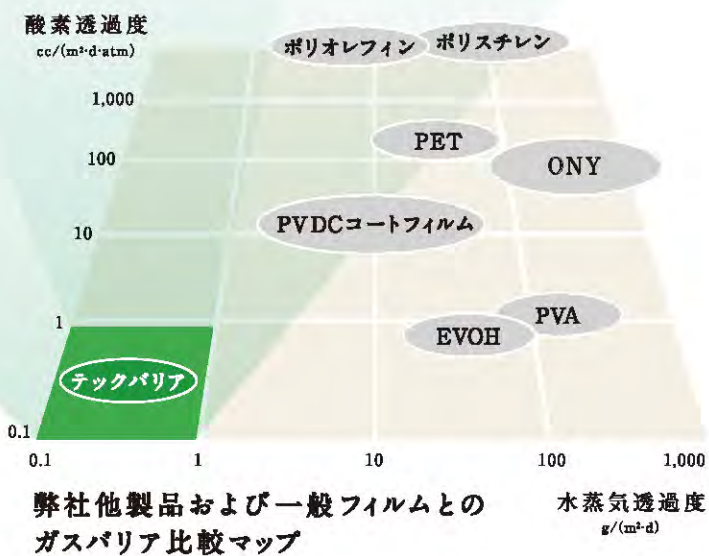
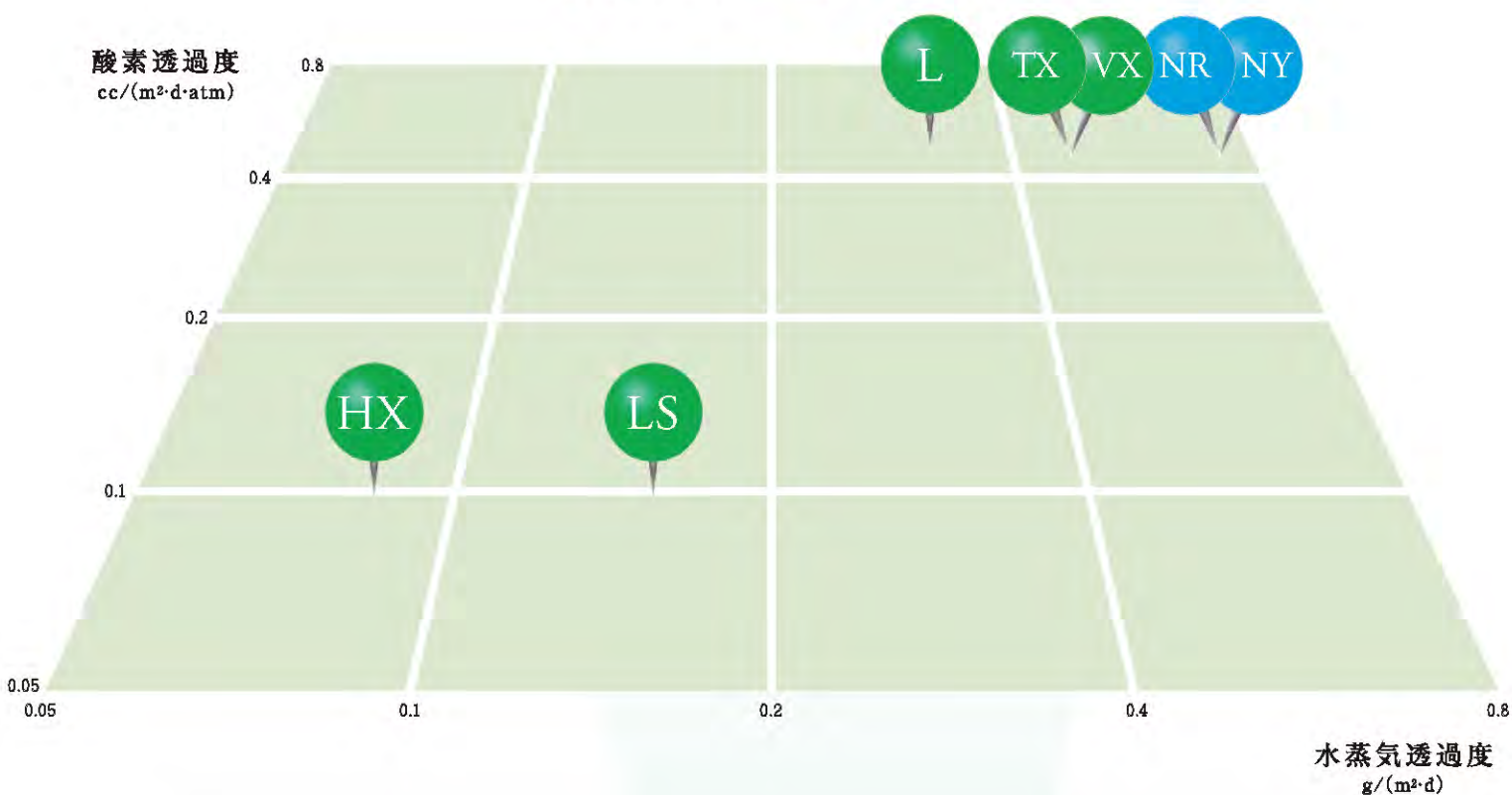


このカタログに記載の酸素透過度、水蒸気透過度は弊社にてラミネートしたフィルムの測定値であり、保証値ではありません。

水蒸気透過度と酸素透過度の性能から、
テックバリア®のタイプをマッピングしました。

テックバリア®のタイプマップ

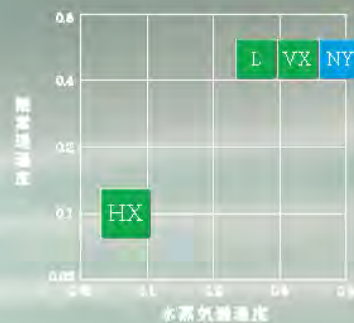
●PET基材 ●ナイロン基材



スタンダード・ハイバリア シリーズ

テックバリア®

VX NY L HX



スタンダードタイプ



高湿度でも高い酸素バリア性を発揮します

酸素透過度 0.5cc/(m²·d·atm)、水蒸気透過度 0.5g/(m²·d)



酸素バリア性、水蒸気バリア性に加え、
高い強度を持っています

酸素透過度 0.5cc/(m²·d·atm)、水蒸気透過度 0.7g/(m²·d)



ハイバリアタイプ



バランスの取れたバリア性能で、幅広い用途に
使用されています

酸素透過度 0.5cc/(m²·d·atm)、水蒸気透過度 0.3g/(m²·d)



テックバリア®シリーズで最も優れた
水蒸気バリア性能を発揮します

酸素透過度 0.1cc/(m²·d·atm)、水蒸気透過度 0.08g/(m²·d)



ボイル対応



レトルト対応



高強度
耐衝撃性

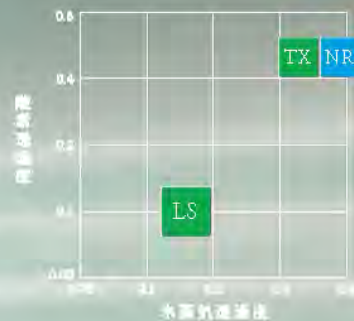


白ベタ
印刷対応

レトルト対応 シリーズ

テックバリア®

TX NR LS



レトルトタイプ

TX

レトルト後も安定したバリア性を発揮します

酸素透過度 $0.5\text{cc}/(\text{m}^2\cdot\text{d}\cdot\text{atm})$ 、水蒸気透過度 $0.5\text{g}/(\text{m}^2\cdot\text{d})$



NR

レトルト対応と高い強度を持っています

酸素透過度 $0.5\text{cc}/(\text{m}^2\cdot\text{d}\cdot\text{atm})$ 、水蒸気透過度 $0.7\text{g}/(\text{m}^2\cdot\text{d})$

ナイロン基材を用いたレトルト対応タイプで強度に優れ、液体包装、重量物の包装分野でお使いいただけます。



レトルトハイバリアタイプ

LS

レトルト処理後で安定した高いバリア性を発揮します

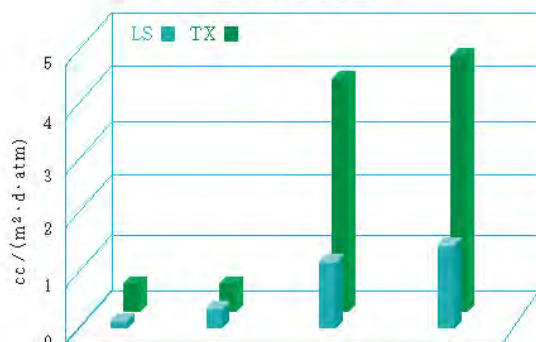
酸素透過度 $0.1\text{cc}/(\text{m}^2\cdot\text{d}\cdot\text{atm})$ 、水蒸気透過度 $0.15\text{g}/(\text{m}^2\cdot\text{d})$

白ベタ印刷が可能でレトルト処理に対応します。

耐屈曲性に優れ、高いバリア性を必要とする用途にお使いいただけます。



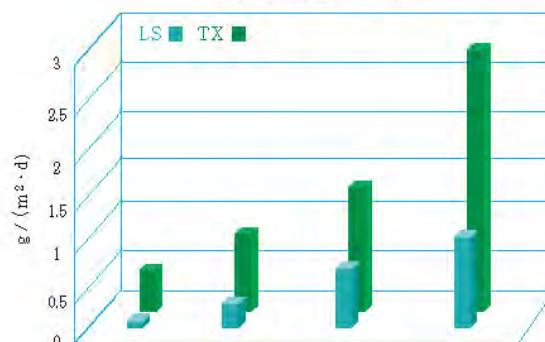
酸素透過度



	初期	レトルト125°C	ゲルボ10回	ゲルボ10回 レトルト125°C
■ TX	0.5	0.5	4.1	4.7
■ LS	0.1	0.3	1.1	1.3

構成:テックバリア//ONY(15)//CPP(50)

水蒸気透過度



	初期	レトルト125°C	ゲルボ10回	ゲルボ10回 レトルト125°C
■ TX	0.5	0.8	1.4	2.8
■ LS	0.15	0.3	0.7	1.0

構成:テックバリア//ONY(15)//CPP(50)

このカタログに記載の酸素透過度、水蒸気透過度は弊社にてラミネートしたフィルムの測定値であり、保証値ではありません。

物性表

項目		タイプ	LS	HX	L
			PET(12)	PET(12)	PET(12)
基材フィルム	(厚み μm)				
特徴	ボイル対応 (100℃以下)		○	×	○
	レトルト対応 (121℃以下)		○	×	×
トップコート	白ベタ印刷対応 (トップコート処理品)		○	○	×
酸素透過速度*	25℃×80%RH	$\text{ml}/(\text{m}^2\cdot\text{d}\cdot\text{MPa})$	1.0	1.0	5.0
		$\text{cc}/(\text{m}^2\cdot\text{d}\cdot\text{atm})$	0.1	0.1	0.5
水蒸気透過速度*	40℃×90%RH	$\text{g}/(\text{m}^2\cdot\text{d})$	0.15	0.08	0.3
ヘーズ		%	4	4	4
全光線透過率		%	89	89	89
引張強さ	MD	MPa	220	220	220
		kg/mm^2	22	22	22
	TD	MPa	230	230	230
		kg/mm^2	23	23	23
引張伸び	MD	%	110	110	110
	TD	%	110	110	110
坪量		g/m^2	16.8	16.8	16.8

上記の値は測定値の一例を示したものです。保証値ではありません。

* 測定条件にて3週間経過後の測定値です。Lタイプは測定条件にて3日間経過後の測定値です。(フミネートにて測定)

	TX	VX	NR	NY	測定方法
	PET(12)	PET(12)	ナイロン(15)	ナイロン(15)	
	○	○	○	×	
	○	×	○	×	
	×	×	×	×	
	5.0	5.0	5.0	5.0	自社法(JIS K 7126-2)を参考
	0.5	0.5	0.5	0.5	
	0.5	0.5	0.7	0.7	自社法(JIS Z 0222)を参考
	4	4	3	3	自社法(JIS K 7136を参考)
	89	89	90	90	自社法(JIS K 7361-1を参考)
	220	220	260	260	自社法(JIS K 7127を参考)
	22	22	26	26	
	230	230	300	300	
	23	23	30	30	
	110	110	110	110	自社法(JIS K 7127を参考)
	110	110	90	90	
	16.8	16.8	17.4	17.4	

注意

- ① 巻物は重量物ですので、取扱い時には怪我をしないようご注意ください。
また、保管中は荷崩れ、転倒防止の処理を施してください。
- ② 取扱い時には、フィルムの端部で手を切らないようご注意ください。
- ③ 製品の性能を保持するために、
製品は直射日光の当たらない常温・常湿の場所で保管してください。
- ④ 製品は水濡れしないようにしてください。
- ⑤ 採用の際は事前に性能をご確認ください。

三菱ケミカル株式会社

フィルムズ本部 パッケージングフィルムズ事業部

東京 100-8251 東京都千代田区丸の内 1-1-1 パレスビル

大阪 541-0044 大阪市中央区伏見町 4-1-1 明治安田生命大阪御堂筋ビル

名古屋 450-6419 名古屋市中村区名駅 3-28-12 大名古屋ビルヂング

福岡 812-0026 福岡市博多区上川端町 12-20 ふくぎん博多ビル

取扱店

<https://www.m-chemical.co.jp>

製品についてのお問い合わせは、下記URLリンク先のフォームより承ります。
<https://www.m-chemical.co.jp/contact/products/index.php?code=1200451>